

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭58—50435

⑪ Int. Cl.³
G 03 D 7/00
B 08 B 1/00

識別記号

庁内整理番号
6920—2H
6420—3B

⑬ 公開 昭和58年(1983)4月5日

審査請求 未請求

(全 1 頁)

⑭ 乾式ジアゾ複写機現像装置用クリーナーシート

東京都大田区中馬込1丁目3番
6号株式会社リコー内

⑮ 実 願 昭56—145016

⑯ 出 願 昭56(1981)10月1日

⑰ 考 案 者 石井英世

東京都大田区中馬込1丁目3番
6号株式会社リコー内

⑱ 考 案 者 保科隆行

⑲ 考 案 者 利元正則

東京都大田区中馬込1丁目3番
6号株式会社リコー内

⑳ 出 願 人 株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番
6号

㉑ 代 理 人 弁理士 伊東貞雄

㉒ 実用新案登録請求の範囲

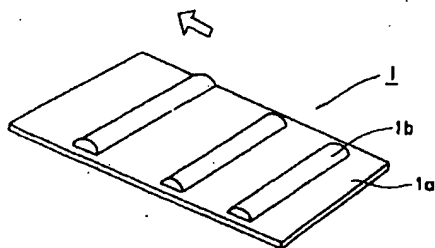
シート面上に搬送方向と直角方向に連泡多孔性樹脂の突起物を並設し、その中にグリコール類、グリコールエーテル類等を含有せしめた乾式ジアゾ複写機現像装置用クリーナーシート。

図面の簡単な説明

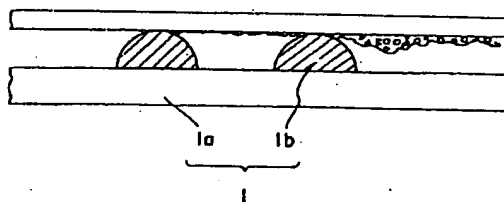
第1図は本考案の一実施例斜視図、第2図は使用時の要部正面図、第3図は本考案を実施する乾式ジアゾ複写機の現像装置側面図である。

1 ……クリーナーシート、1a ……シート、
1b ……突起物。

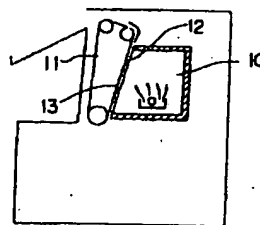
第1図



第2図



第3図



公開実用 昭和 58— 50435

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭58—50435

51 Int. Cl.³

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和58年(1983)4月5日

G 03 D 7/00

6920—2H

B 08 B 1/00

6420—3B

審査請求 未請求

(全 頁)

54 乾式ジアゾ複写機現像装置用クリーナーシート

東京都大田区中馬込1丁目3番
6号株式会社リコー内

⑭ 考案者

利元正則

21 実願 昭56—145016

東京都大田区中馬込1丁目3番
6号株式会社リコー内

22 出願 昭56(1981)10月1日

⑮ 出願人

株式会社リコー

72 考案者 石井英世

東京都大田区中馬込1丁目3番
6号

東京都大田区中馬込1丁目3番
6号株式会社リコー内

⑯ 代理人

弁理士 伊東貞雄

73 考案者 保科隆行

BEST AVAILABLE COPY

明 細 書

1. 考案の名称

乾式ジアゾ複写機現像装置用
クリーナーシート

2. 実用新案登録請求の範囲

シート面上に搬送方向と直角方向に連泡多孔性樹脂の突起物を並設し、その中にグリコール類、グリコールエーテル類等を含有せしめた乾式ジアゾ複写機現像装置用クリーナーシート。

3. 考案の詳細な説明

乾式ジアゾ複写機の現像装置は第3図に示す如くアンモニアガス発生装置10と感光紙搬送装置11とから構成され、ジアゾ感光紙感光層がアンモニアガスと接触する部分はピアノ線や金網12からできており、この部分へ搬送装置により搬送されてきたジアゾ感光紙13は急激な加熱、加湿、等により感光層が軟化し、現像装置と搬送装置の加圧により感光層形成物が脱落し、ピアノ線又は金網12に付着堆積して行く。

この結果新にジアゾ感光紙を現像装置に通過させると一般に云う現像汚れとなりコピー品質を低下させる。そこで従来現像装置を分解掃除することが行われたが時間がかゝり、複写機を停止させなければならぬので非能率であった。又現像装置へ汚れがなくなる迄通紙することも行われたが付着物を完全に除去できなかった。更に紙又は加工紙にグリコールエーテルを含浸させたクリーナーシートを用いることも行われたが付着物を完全に除去できなかった。

本考案はシート面に搬送方向と直角方向に連泡多孔性樹脂の突起物を並設し、その中にグリコール類、グリコールエーテル類等を含有させたクリーナーシートを用いることにより複写機を停止することなく、時間をかけることなく現像装置の付着物を除去できるようにして従来の欠点を除くようにしたものである。

次に添附図面に示した本考案の一実施例について詳細に説明する。1。は乾式ジアゾ複写機現像装置を充分に通過できる巾でジアゾ感光紙

より厚い0.1～2mmの厚みのシートで、その上面に搬送方向と直角方向に連泡多孔性樹脂の突起物1bを並設し、その中にグリコール類、グリコールエーテル類等ジアゾ感光紙より脱落した付着物を溶解できる溶剤を浸み込ませておく。連泡多孔性樹脂としてはゴム硬度約30～60のポリエステル樹脂、エポキシ樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、尿素樹脂等の熱硬化型樹脂等が用いられる。

トリエチレングリコール、モノメチルエーテル20gを硬度50のエポキシ連泡多孔性樹脂の中に含有させたクリーナーシートを、感光層よりの脱落物が0.3g付着している(株)リコー製リコピー9H-1500複写機現像装置に3回通したところ、付着物は0.02gに減少し、コピー汚れは解消された。

本考案によるとシート面に搬送方向と直角方向に連泡多孔性樹脂の突起物を並設し、その中にグリコール類、グリコールエーテル類等を含有させているので、複写機を停止することなく、

公開実用 昭和 58— 50435

時間をかけることなく現像装置の付着物を効果的に除去することができる。

4. 図面の簡単な説明

第 1 図は本考案の一実施例斜視図、第 2 図は使用時の要部正面図、第 3 図は本考案を実施する乾式ジャズ複写機の現像装置側面図である。

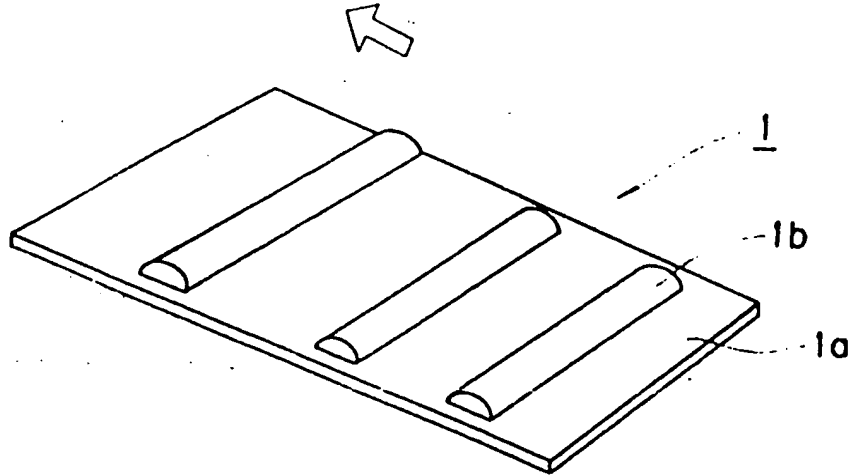
1 … クリーナーシート 1 a … シート

1 b … 突起物。

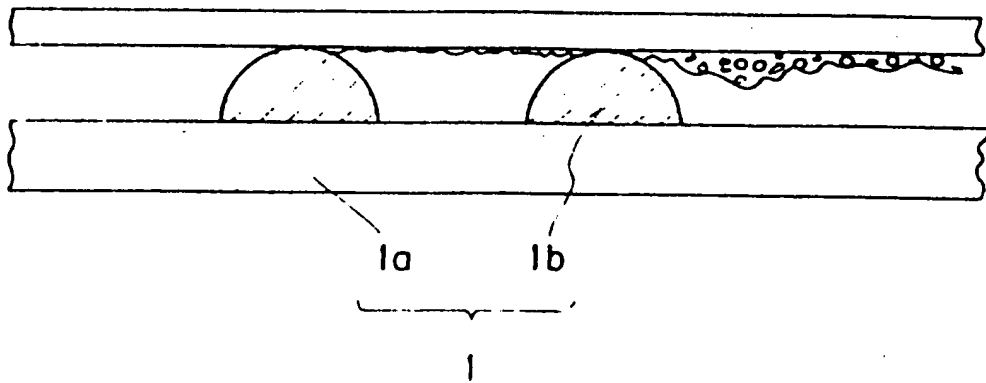
実用新案登録出願人 株 式 会 社 リ コ ー

代 理 人 伊 東 貞 雄

第 1 図



第 2 図



第 3 図

